

資 料

- 資料 1 研究協力の照会文書
- 資料 2 研究協力の回答文書
- 資料 3 調査の手順の説明書
- 資料 4 母親調査のお願い・説明文書
- 資料 5 母親調査票
- 資料 6 施設調査のお願い・説明文書
- 資料 7 施設調査票

拝啓、時下ますますご清勝のことと存じます。

今年は『健やか親子21』の取り組みが始まってから5年が経過しました。

この度、平成17年度厚生労働科学研究費補助金により「科学的根拠に基づく快適な妊娠・出産のためのガイドラインの開発に関する研究」班（主任研究者 島田三恵子、分担研究者 大橋一友、杉本充弘、縣俊彦）がこの折り返し時点で、その課題の1つ「快適で安全な妊娠出産」の現状について、サービスの利用者であるお母様方（約3000～4000名の予定）への全国調査を計画しております。

また、産科医の減少により出産施設の閉鎖が続く中で「快適で安全な妊娠出産ケア」を提供するだけでなく、医療者にとっても快適な母子保健医療体制を構築するために現状の医療体制を調査し、実現可能で快適な妊娠出産ケアのガイドラインを検討したいと考えております。

つきましては是非ご協力をお願い致したく、失礼ではありますが書面にてご依頼申しあげます。以下の調査方法、内容につきまして、貴院での調査にご協力頂けますかどうか、更にご協力頂ける場合には調査期間中にお母様に何部程度の配布・回収が見込まれるかを、回答用紙にご記入の上、恐縮ですが平成17年10月11日（火曜日）までに返信封筒に入れて回答頂けますようお願い致します。

<調査方法>

- ① お母様への調査：産後1ヶ月健診に来られた褥婦様へ、外来で質問紙を順次配布して頂き、記入後お母様ご自身で返信用封筒に入れて郵送（着払い）で回収致します。この調査票には予め整理番号を付してあり、ご希望の施設には貴院の母親調査の集計結果をご報告致します。回答者は無記名のため個人は特定されません。
- ② 分娩施設への調査：周産期の管理者の方（産科部長様、産科の助産・看護師長様）に回答して頂き、返信用封筒に入れて郵送（着払い）で返信願います。

<調査期間>平成17年10月上旬～12月上旬

<調査内容>

- ① お母様への調査：妊娠・分娩・産後入院中のケア、処置、医療側の対応、等
- ② 施設への調査：安全性を確保しつつ母親達が望む快適で満足なお産を提供するために最低限度必要なマンパワーや活性化すべき現存の体制と補充すべき体制

この調査は無記名で全て統計処理しますので、ご協力頂く方々の個人名、個人情報および施設名等一切外部に公表されることはございません。何とぞ宜しくお願い申し上げます。 敬具

平成17年9月28日

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 島田三恵子
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 Tel 06-6879-2532
E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

厚生科学研究への協力依頼に関する回答

資料2

- 1、貴院は妊婦健康診査または分娩を取り扱っていますか？
- 1) 分娩を行っている（出張開業も含む）
 - 2) 外来診療のみ行っている（妊婦・褥婦などの健康診査）
 - 3) いずれも行っていない（休業、閉鎖含む）

2、お母様への調査に協力

- 1) する 2) しない （どちらかを○で囲んで下さい）

↓

ご協力頂ける場合

調査期間中に（ ）部程度の配布・回収が見込まれる。

※目安として、1ヶ月の分娩数の1/2～1/4程度ご協力頂ければ幸いです。
最終的にお願いする調査票部数は貴院の上限を超えない範囲で調整致します。

3、出産施設の調査に協力

- 1) する 2) しない （どちらかを○で囲んで下さい）

4、貴院の母親調査の集計結果を希望

- 1) する 2) しない （どちらかを○で囲んで下さい）

貴院名 _____

御住所 〒 _____

電話・FAX _____

上記の2. と3. の両方の調査、またはいずれか一方の調査でもご協力頂ければ幸いです。

調査票の送付、配布の際に窓口となって頂ける方をお教え下さい。

御氏名・職名 _____

電話・FAX _____

研究協力施設
ご担当様 各位

平成17年10月7日

厚生労働省科学研究への調査協力の御依頼

この度は、調査へのご協力を頂き、誠にありがとうございます。本来ならばお伺いして、ご説明させて頂くべき所、全国に伺うことも叶わず書面のお願いで失礼致します。

今年は『健やか親子21』の取り組みが始まってから5年が経過しました。その折り返し時点で、平成17年度厚生労働科学研究「科学的根拠に基づく快適な妊娠・出産のためのガイドラインの開発に関する研究」班（主任研究者 島田三恵子、分担研究者 大橋一友、杉本充弘、縣俊彦）がその課題の1つ「快適で安全な妊娠出産」の現状について、出産されたお母様方から妊娠・出産・育児に関する母子保健医療への思いを明らかにし、お母様方が望む快適な妊娠出産育児ケアを提供する資料とするために、全国調査を行うことになりました。

また、産科医の減少により出産施設の閉鎖が続く中で「快適で安全な妊娠出産ケア」を提供するだけでなく、医療者にとっても快適な母子保健医療体制を構築するために現状の医療体制を調査し、実現可能で快適な妊娠出産ケアのガイドラインを検討することを目的とし、全国調査を行うことになりました。

そこで、ご多忙の折お手数をおかけし誠に恐縮ですが、別紙のような方法で、調査票を配布または返送下さいますようご協力をお願い申し上げます。

1、貴院でお願いしたい自記式調査票の部数

『お母様へのお産のアンケート』（桃色のお願い文、返信封筒）	部
『出産施設へのアンケート』（水色のお願い文、返信封筒）	1 部

2、調査期間：平成17年10月中旬～11月中旬

3、対象と方法

- ①お母様への調査：上記の調査期間に、産科外来で、産後1ヶ月健診を来られた褥婦様に順番に、お願いした質問紙が無くなるまで配布して下さい。お母様が記入後、お母様ご自身が返信用封筒に入れて封をして、1週間以内に郵送（着払い）して下さい。ご説明願います。
- ②出産施設への調査：周産期部門の管理者の方（産科部長様、産科助産・看護師長様）に回答して頂き、返信用封筒に入れて郵送（着払い）で速やかに返送をお願い致します。

尚、調査票の配布部数または回収部数が5部以下の場合は、個人が特定される可能性が高いため、集計結果を希望された施設への報告を控えさせて頂きます。何卒ご容赦下さい。

アンケートに関するご質問・ご意見がありましたら下記までお寄せ下さい。

送付先および連絡先 主任研究者 島田三恵子宛

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

Tel/Fax 06-6879-2532、 E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

平成17年 9月28日

お産後のお母様に調査へのご協力をお願い

ご出産おめでとうございます。

出産後1ヶ月経ちましたが、育児等に夢中で過ごされ、お疲れさまでした。

この度、お産後のお母様方から、妊娠・出産・育児に関して保健医療サービスや医療従事者への思いを明らかにし、お母様方が望む満足な出産や育児ができるようなお手伝いに役立つ事を目的として、厚生労働省の研究費を受けて、これからの妊娠出産ケアに関する調査を行っております。

お忙しいことと存じますが是非とも調査にご協力をお願い致します。なお、この調査にご協力頂かなくてもお母様に何ら不利益はございません。途中いつでも自由に参加を取り止めることができます。その場合も、お母様に何ら不利益はございません。

お忙しいところお手間をおかけいたしますが、御記入頂き、同封の封筒に入れて、封をして、1週間以内にご返送下さいますようお願い致します。

なお、この調査票には整理番号が付いていますが、全て無記名で統計処理し、ご協力頂く方々の個人名、個人情報とは特定されませんし、一切外部に公表されることはございません。また、施設内の資料、研究報告書および学会発表に使用する他は、回答内容が目的以外に使用されないことをお約束致します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

アンケートに関するご質問・ご意見がありましたら下記までお寄せ下さい。

送付先および連絡先 主任研究者 島田三恵子宛

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

Tel/Fax 06-6879-2532、 E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

妊娠してから出産、産後の間、あなたご自身が受けた保健医療ケアや医療従事者と接した中で、あなたの感じたことや記憶していることについて、以下の質問にお答え下さい。必要な時には、母子健康手帳を参考になさして下さい。

回答は、当てはまる番号に○を付け、□□に数字を、()に文字をお書き下さい。特にお断りしていない限り、当てはまるもの1つに○を付けて下さい。

I あなたご自身のことについておたずねします。

1. 現在、あなたは何歳ですか。 □□ 歳
2. 今回あなたが出産した場所は () 都・道・府・県
3. あなたはお仕事をもっていますか。
仕事をもっている（自営業を含む）。
 - 1) 産後休暇6週間を待たずに、働く予定（または既に働いている）。
 - 2) 産後休暇中であるが、産後職場復帰する予定。
 - 3) 育児休業をとってから、職場復帰する予定。仕事をもっていない。
 - 4) 妊娠・出産を契機に退職し、しばらく就職するつもりはない。
 - 5) 就職を希望しているが、失業中である。
 - 6) 妊娠前から専業主婦である。
 - 7) その他
4. 今回の退院は、お産当日を入れて何日目でしたか。 □□ 日目
5. 退院後、どこで過ごしましたか。
 - 1) 自宅
 - 2) 自分の実家
 - 3) 夫の実家
 - 4) その他 ()

II 以下の欄は母子健康手帳を参考にご記入下さい。

6. 今回のお産は、何回目のお産ですか。
 - 1) 初めて、
 - 2) □□ 回目
7. 妊娠何週で産まれましたか。 □□ 週
8. 赤ちゃんは何グラムでしたか。 □□□□ g,
双子以上の場合
□□□□ g, □□□□ g, □□□□ g,

9. 今回の妊娠中の健康状態は次のどれですか。

当てはまる回答にいくつでも○を付けて下さい。(複数回答可)

- 1) 健康、あるいは特に異常はなかった。
- 2) 妊娠中毒症があった。
- 3) お産の時まで逆子(骨盤位)だった。
- 4) お産の前まで、胎児が小さいと言われた。
- 5) お産の前まで、胎盤の位置がおかしい、又は普通の位置ではないと言われた。
- 6) 羊水が少ない、又は多過ぎると言われた。
- 7) その他、特に医師に言われていたこと ()

10. 今回のお産の経過についてお答え下さい。(複数回答可)

- 1) 特に異常はなかった。
- 2) 微弱陣痛
- 3) 胎児仮死
- 4) 出血多量
- 5) 逆子(骨盤位)
- 6) その他の診断名 ()
- 7) 分娩所要時間 時間 分

11. 今回のお産に関し、受けた手術・処置についてお答え下さい。(複数回答可)

- 1) 自然分娩(正常分娩)
- 2) 吸引分娩
- 3) 鉗子分娩
- 4) 帝王切開
- 5) 無痛分娩(硬膜外麻酔)
- 6) 陣痛誘発(陣痛のない状態から、薬を使用して陣痛を起こした)
- 7) 陣痛促進(陣痛はあったが、更に薬で陣痛を強くした)
- 8) その他、行われた処置 ()

Ⅲ 今回の妊娠中のことについておたずねします。

満足 やや満足 中間 やや不満足 不満足

1) 2) 3) 4) 5)

12. 妊娠中のケアについて満足でしたか。

--	--	--	--	--

13. 今回のお産の妊娠中の健診を、主に受けた所はどこですか。

- 1) 大学病院
- 2) 病院(総合病院、産婦人科の病院、入院ベッド20床以上)
- 3) 医院(産婦人科の医院・クリニック、入院ベッド19床以下)
- 4) 助産院
- 5) その他(場所:)

IV 今回のお産のことについておたずねします。

満足 やや満足 中間 やや不満足 不満足

1) 2) 3) 4) 5)

18. 分娩中のケアについて満足でしたか。

--	--	--	--	--

19. 今回のお産をした場所は、次の5種類の医療施設のどこですか。

- 1) 大学病院
- 2) 病院（総合病院、産婦人科の病院、入院ベッド20床以上）
- 3) 医院（産婦人科の医院・クリニック、入院ベッド19床以下）
- 4) 助産院
- 5) その他（場所）

20. 出産する場所をそこに決めた理由は次のどれですか。（複数回答可）

- 1) 近いから
- 2) 大きい病院だから
- 3) 有名だから
- 4) 評判がいいから
- 5) お産のやり方（フリースタイル、水中出産、自由な姿勢で産めるなど）が気に入ったから
- 6) 母児同室制だから
- 7) 医療者の対応がよかったから
- 8) 経済的だから
- 9) 前もここで出産して、良かったから
- 10) 理由は特にない。
- 11) アメニティ（部屋・食事・設備）が充実している。
- 12) その他（）

以下26番まで答えられない箇所があればお答え頂かなくて結構です（例えば帝王切開の方）

21. 今回のお産で、陣痛室（赤ちゃんが生まれる少し前まで過ごした部屋）で、あなたのそばに最も長くいた医療者を一人あげるとすれば、誰ですか。

- 1) 助産師
- 2) 看護師
- 3) 看護師か助産師のどちらかわからないが、助産・看護に携わる人
- 4) 助産実習生（助産学生）
- 5) 産科医
- 6) 誰だかわからない。
- 7) その他（）
- 8) 誰も居なかった。

22. お産の時、その医療者にもっとそばにいて欲しかったですか。

- 1) はい
- 2) 痛みが強くなった時など必要な時だけ、いて欲しかった。

- 3) 充分そばにいてくれて、安心できた。
- 4) その人には、いて欲しくなかった。他の医療者にもっといて欲しかった。
- 5) 医療者ではなく、家族にそばにいて欲しかった。
- 6) 誰もそばにいて欲しくなかった。
- 2 3. 今回のお産について、陣痛室であなたのそばにいた医療者以外の人は誰でしたか。
(複数回答可)
- 1) 夫・パートナー
- 2) 親 (実父母・義父母)
- 3) 姉妹
- 4) 友人・知人
- 5) その他 (誰ですか)
- 6) 誰もいなかった。
- 7) 医療者側の都合・方針で誰も入れなかった。
- 2 4. お産で入院してからお産が終わるまでの間に、分娩監視装置 (胎児の心音と陣痛を測る産科医療機器) を何回くらいつけましたか。
- 1) 分娩監視装置を1度もつけなかった。機械で胎児心音だけ聞いた。
- 2) 入院した時に、1回だけつけた。
- 3) 入院した時、子宮口が全部開く前、分娩室へ入室後の合計3回程度つけた。
- 4) お産で入院してから、合計 回つけた。
- 5) トイレや食事以外の時は、ほとんどつけたままだった。
- 2 5. 分娩監視装置がなぜ必要なのか説明があり、納得できましたか。
- 1) はい 2) 納得できなかった 3) 説明なし
- 2 6. お産の時、医師または助産師などの医療者は、あなたに次の事を行いましたか。
- 1) あなたの意志や希望を尊重し、あなたがして欲しいと思った事をきいてくれた。 1, はい 2, いいえ
- 2) 浣腸 1, はい 2, いいえ
- 3) あおむけ以外の姿勢をすすめた。 1, はい 2, いいえ
- 4) 陰部の毛を少しそったり切ったりした。 1, はい 2, いいえ
- 5) マッサージや暖かいパックを腰に当てるなどして痛みをやわらげてくれた。 1, はい 2, いいえ
- 6) あなたの気持ちを理解し、安心させてくれた。 1, はい 2, いいえ
- 7) お産の時、点滴をしていた。 1, はい 2, いいえ
- 8) 会陰切開 (出口をはさみで切ること) 1, はい 2, いいえ
- 9) お産の後すぐ、あなたが希望するような形で赤ちゃんとの対面ができた。 1, はい 2, いいえ
- 2 7. お産の時、医師または助産師などの医療者は分娩の経過や状況をわかりやすく説明してくれましたか。
- 1) はい 2) よく理解できなかった 3) 説明なし

28. 赤ちゃんが生まれる時、立会った医療者以外の方は誰でしたか。(複数回答可)

- 1) 夫・パートナー
- 2) 親 (実父母・義母)
- 3) 姉妹
- 4) 友人・知人
- 5) その他 (誰ですか)
- 6) 誰もいなかった。 ⇒ 誰も立ち会えなかった理由は何ですか。

- (1) あなたが希望しなかった。
- (2) その人が希望しなかった。
- (3) その人が多忙だった。
- (4) 医療側の方針で、そばにいられなかった。
- (5) 理由はわからない。
- (6) その他 ()

29. あなたの赤ちゃんを、実際に取り上げた人は誰ですか。

- 1) 産科医
- 2) 助産師
- 3) 産科医が立ち会って、助産師がとりあげた。
- 4) 助産師が立ち会って、助産学生がとりあげた。
- 5) その他 (誰ですか)
- 6) わからない

30. お産の時、あなたは以下のどのような状態でしたか。

- 1) お産の始めから終わりまで、あなたが自由に動いて姿勢を変えることができた。 1, はい 2, いいえ
- 2) 赤ちゃんが出る時、あなたはあおむけでしたか。
1, はい 2, いいえ
「いいえ」とお答えの方、どんな格好でしたか ()
- 3) プライバシーは配慮されていましたか。 1, はい 2, いいえ

31. お産の時、自分が十分尊重されたと感じましたか。

- 1) はい 2) いいえ

V 産後や育児のことについておたずねします。

満足 やや満足 中間 やや不満足 不満足
1) 2) 3) 4) 5)

32. 産後のケアについて満足でしたか。

_____	_____	_____	_____	_____
-------	-------	-------	-------	-------

33. お産の後、赤ちゃんをすぐに抱くことができましたか。
- 1) 分娩後1時間以内に抱いた。
 - 2) 2時間以内
 - 3) 分娩後、歩けるようになってから
 - 4) お産の翌日から
 - 5) その他 (いつ頃)
34. お産の後、赤ちゃんにすぐにお乳を吸わせることができましたか。
- 1) 分娩後1時間以内にお乳を吸わせた。
 - 2) 2時間以内
 - 3) 分娩後、歩けるようになってから
 - 4) お産の翌日から
 - 5) その他 (いつ頃)
35. 入院中、赤ちゃんに、さ湯、糖水、ミルクが与えられていましたか。
- 1) 母乳だけで、他は何も与えられなかった。
 - 2) さ湯が与えられていた。
 - 3) 糖水が与えられていた。
 - 4) ミルクが与えられていた。
 - 5) わからない。
36. あなたは妊娠中、分娩、産後を同じ医師に診てもらいましたか。
- 1) はい
 - 2) いいえ
37. あなたの妊娠中から分娩、産後のケアを同じ助産師が行いましたか。
- 1) はい
 - 2) いいえ
38. もう一度お産をするとしたら、ここでお産をしたいですか。
- 1) はい
 - 2) いいえ
 - 3) どちらともいえない
39. お産後のこの1ヶ月間、毎日のように育児や家事を手伝ってくれた人は主に誰ですか。
- 1) 夫・パートナー
 - 2) 親 (実父母・義父母)
 - 3) 姉妹
 - 4) 誰もいなかった、自分でやった
 - 5) その他 ()
40. 生後1ヶ月の時点で、赤ちゃんの栄養は次のどれですか。
- 1) 母乳のみ
 - 2) 主に母乳の方が多いが混合栄養
 - 3) 母乳は吸わせているが、ミルクの方が多混合栄養
 - 4) ミルクのみ
 - 5) どちらかわからない

4 1. 退院後の1ヶ月間、育児などのことで困ったことはありましたか。 (複数回答可)

お母さん自身のこと

- 1) 睡眠不足で身体が疲れていた。
- 2) 社会から取り残された感じがして、孤独感やあせりを感じた。
- 3) 育児にかかり切りで忙しく、投げ出したくなることがある。
- 4) 赤ちゃんの育て方に自信がなかった。
- 5) お乳のトラブル (しこり・痛みなど)
- 6) 会陰の痛み
- 7) 出血や悪露
- 8) 尿もれ
- 9) その他 ()

赤ちゃんのこと

- 10) 眠ってくれない。
- 11) 泣いてばかりいる (夜泣きも含む)。
- 12) 母乳が足りているのかどうか心配。
- 13) ミルクをどのくらい飲ませたら良いのかわからない。
- 14) おう吐
- 15) 便のこと (便秘・下痢)
- 16) 皮膚のこと (湿疹、おへそのこと、黄疸)
- 17) 体重のこと
- 18) 実際の育児のしかたがこれでよいのかどうか確認したい。
- 19) その他 ()

育児環境について

- 20) 夫や家族の理解や協力が得られなかった。
- 21) 相談できる場所、専門の人がなかった。
- 22) 仕事との両立が難しい。
- 23) 保育園に預けたいが入園できるかどうかわからない。
- 24) その他 ()

4 2. 子育てをする時、以下のどのようなサービスがあれば、楽しく育児ができますか。
あなたにとって、次の 1)~26)までのうち、最も重要なものに 5つまで ○をつけて
下さい。 (5つ複数回答可)

産後の情報提供

- 1) 産後、退院してから母子共に入院できる助産院リスト
- 2) 電話相談や育児相談の電話番号リスト
- 3) 夜もみてくれる小児科医のリスト
- 4) 母子健康手帳に、電話相談の番号、助産院、小児科医の情報も載せる。

育児相談

- 5) 24時間電話できる育児相談

44. 退院後の1ヶ月間、医療者（医師、助産師、看護師、保健師）に相談して、あなたの悩みや育児の心配事は解決しましたか。

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) 返って心配になった
- 4) わからない
- 5) 相談しなかった

45. その結果（相談した結果）について、満足しましたか。

- 1) はい
- 2) いいえ
- 3) どちらともいえない

46. 今回の妊娠からお産までに受けた医療サービスは、全体的にみて満足できましたか。

- 1) 満足できた
- 2) 満足できなかった
- 3) どちらともいえない

Ⅶ これからの育児のことについておたずねします

47. 産後2ヶ月、産後3ヶ月の間、どのようなサービスがあれば楽しく育児ができますか。

次の1)~16)までのうち、あなたにとって重要なものに○をつけて下さい。 (複数回答可)

情報提供

- 1) 夜もみてくれる小児科医のリスト
- 2) ベビーシッターを紹介してくれる所
- 3) 地域の児童委員、民生委員
- 4) 出産した病院からの育児などの情報提供や働きかけ
(例えば、赤ちゃんとの生活や、上の子どもの対応に関する助言など)

育児相談

- 5) 24時間電話できる育児相談
- 6) 母乳育児の相談と乳房手当を兼ねた母乳外来
- 7) 自由に参加できる病院・医院・助産院での育児相談

育児サポート

- 8) お産をした病院・医院・助産院からの電話訪問
- 9) 産後1ヶ月後も、必要な時に何回でも相談に応じてもらえる家庭訪問
- 10) 自由に参加できる病院・医院・助産院での育児サークル
- 11) 父親どうしの交流ができる場
- 12) インターネットによる育児相談

保育所

- 13) 働いていなくても利用できる赤ちゃんの一時預かり保育
- 14) 産休または育児休暇明けの母親の乳児優先の入園制度

育児休業、労働時間など

- 15) 夫婦で育児できるような父親の育児休業
- 16) 夫が育児参加できるような父親の働き方（短時間勤務、在宅勤務など）

ご協力ありがとうございました。

平成17年 9月28日

研究協力施設
ご担当者様 各位

様

出産施設調査への協力の御依頼

この度は、出産施設への調査にご協力を頂き、誠にありがとうございます。

本来ならばご説明に伺うべき所、書面のお願いにて失礼致します。

『健やか親子21』の課題の1つ「快適で安全な妊娠出産」の取り組みが始まってから5年が経過しました。この度、厚生労働省科学研究費補助金により「科学的根拠に基づく快適な妊娠・出産のためのガイドラインの開発に関する研究」班（主任研究者 島田三恵子、分担研究者 杉本充弘、大橋一友、縣俊彦）が、出産されたお母様方が望む満足な妊娠出産や育児ができるような保健医療サービスを提供するために、必要とされる母子保健医療体制について全国調査を行い、実現可能で快適な妊娠出産ケアのガイドラインを検討することになりました。

そこで、ご多忙の折お手数をおかけし誠に恐縮ですが、周産期の管理者の方（産科医の責任者の方；産科部長様、施設によっては院長・副院長様、および助産ケアの責任者の方；産科の助産・看護師長様）にご記入頂き、同封の封筒に入れて、ご返送下さいますようご協力をお願い申し上げます。

この調査は全て統計処理し、ご協力頂く方々の個人名、個人情報および施設名などは特定されませんし、一切外部に公表されることはございません。また、施設内の資料、研究報告書および学会発表に使用する他は、回答内容が目的以外に使用されないことをお約束致します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

アンケートに関するご質問・ご意見がありましたら下記までお寄せ下さい。

送付先および連絡先 主任研究者 島田三恵子宛

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

Tel/Fax 06-6879-2532、 E-mail: shimadam@sahs.med.osaka-u.ac.jp

「快適で安全な妊娠出産」を提供するための産科医療体制に関する調査

産科医の減少により出産施設の閉鎖が続き、医療者にとっても快適な出産医療体制の整備が急務となっています。そこで、快適で安全な妊娠出産医療・ケアを提供する受け皿として、活性化すべき現存システムや補充すべき体制などについてお尋ねします。

産科医の責任者の欄は産科の部長様（施設によっては院長様、副院長様）、助産ケアの責任者の欄は産科の師長様（助産師長様または看護師長様）にお答え頂きますようお願い致します。

回答は、当てはまる番号に○を1つ付けて下さい。（ ）には数字をお書き下さい。

I 貴院についてお尋ねします。

1、貴施設は以下のどの施設に該当しますか？

- 1) 大学病院
- 2) 一般病院（総合病院）
- 3) 一般病院（産科の単科病院）
- 4) 診療所
- 5) 助産所

2、産科単科（分娩室、新生児室、褥室含む）の病棟がありますか？

- 1) はい
- 2) いいえ（婦人科、小児科、内科など他科との混合病棟）

3、産科として決めているベッド数は何床ですか？（ ）床

4、NICUが設置されていますか？

- 1) はい
- 2) いいえ

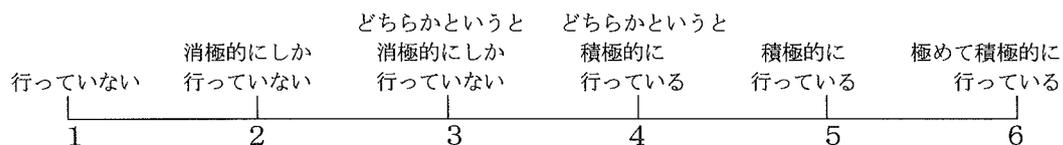
5、MFICUが設置されていますか？

- 1) はい
- 2) いいえ

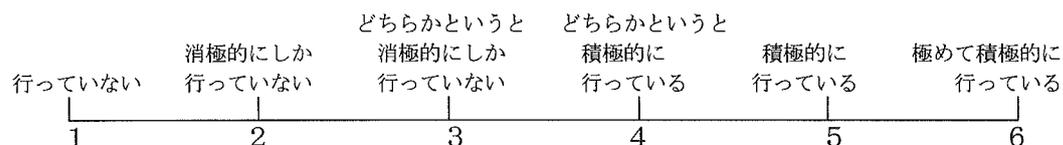
6、貴院のホームページから産科にアクセスできるホームページがありますか？

- 1) はい
- 2) いいえ

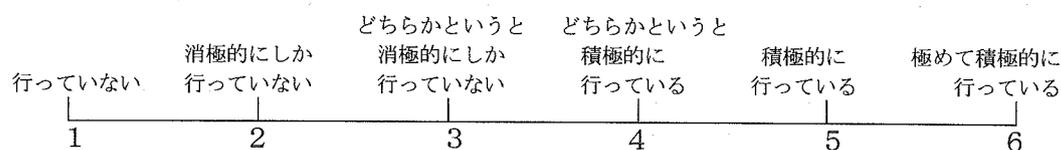
7、分娩数や産科手術数を公表していますか？



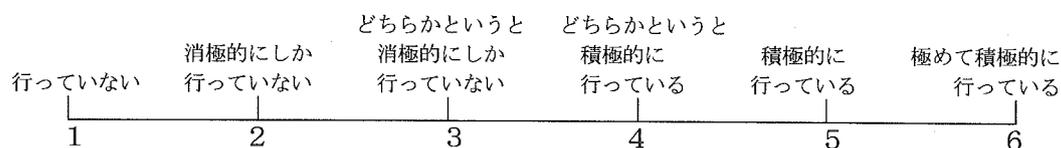
8、昨年の相談件数（電話、母乳、育児、受診、家族計画など）のデータの作成について



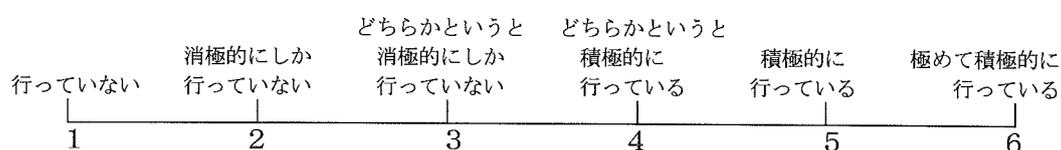
9、一般の妊婦健康診査と分娩費用が公表されていますか？



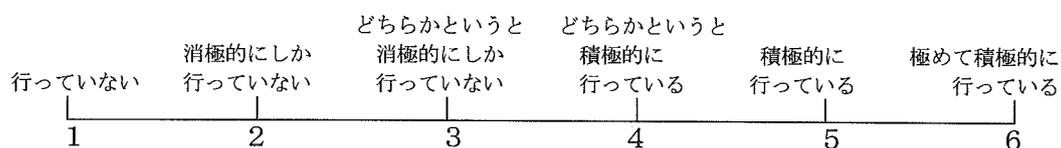
10、妊産褥婦が診療等にかかった費用の請求書の明細を見ることができますか？



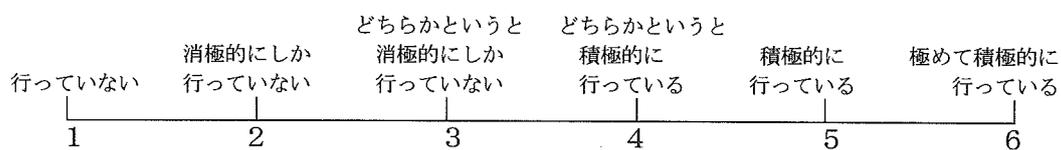
11、カルテの開示を希望者に行っていますか？



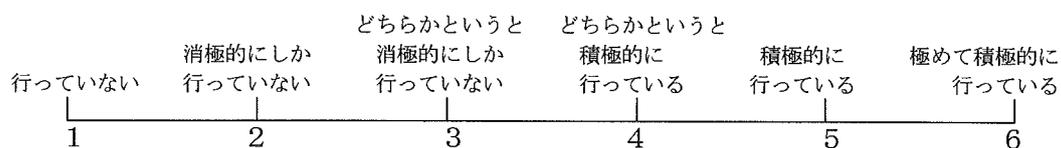
12、電子カルテを導入していますか？



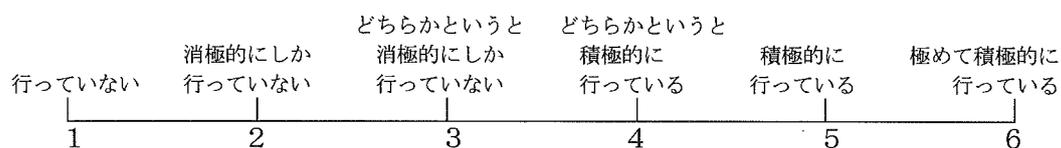
13、クリニカルパスを導入していますか？



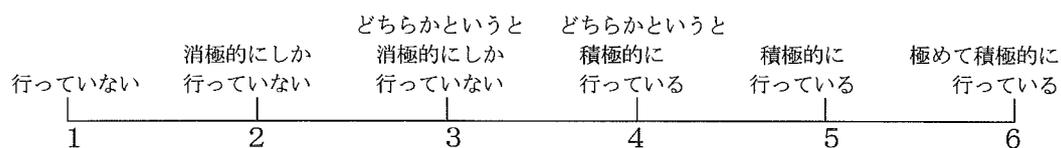
14、医学生、助産学生、看護学生の実習対象になる時、妊産褥婦に同意を得ていますか？



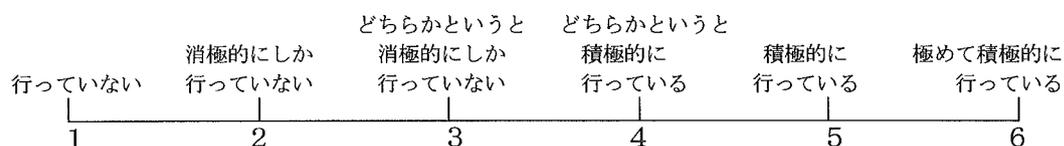
15、市民グループや親同士の相互支援活動を紹介していますか？



16、産科の満足度調査を行っていますか？



17、患者・家族等からの苦情、相談に応じる窓口について



II 貴院のマンパワーについてお尋ねします。

18、貴院の平成16年の分娩件数（妊娠22週以降）は年間何件ですか？（ ）件

19、貴院の平成16年の帝王切開術は年間何件ですか？（ ）件

20、貴院の平成16年の流産手術（妊娠22週未満）は年間何件ですか？（ ）件

21、貴院の産科外来の受診者数は月間何名ですか？（ ）名

22、周産期部門（NICUを除く病棟と外来）におけるマンパワーの実数についてお尋ねします。

産科医（産婦人科医）	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名
	研修医（ ）名	
助産師	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名
看護師	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名
看護助手	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名

23、夜間・休日、アルバイトの医師を雇用していますか？

1) はい 2) いいえ

24、夜間・休日、アルバイトの助産師を雇用していますか？

1) はい 2) いいえ

25、周産期部門（NICUを除く病棟と外来）のマンパワーが、貴院ではあと何名位必要と考えられますか？ 充足されている場合は0名とお書き下さい。

産科医（産婦人科医）	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名
助産師	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名
看護師	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名
その他	常勤（ ）名、	非常勤（ ）名

III 産科医の責任者の方に診療体制等について尋ねします。

※施設名は特定されませんので、改善のために実際の現状を正しくお書き下さい。

26、産科医（産婦人科医）1人当たりの実際の労働時間は、平均すると週何時間ですか？
週当たり平均（ ）時間

27、平成16年は、産科医（産婦人科医）1人当たり平均して年間何日の休暇を実際に取りましたか？

週休（ ）日+祝祭日（ ）日+年休等（ ）日=年間（ ）日

